中小工務店仲介 施工費2割減

見積もりサイト運営のローカルワークス（東京・港、清水勇介社長）は、住宅リフォーム費用の一括見積もりサイトを開設した。複数の中小工務店から見積もりを取り、施工費や口コミを比較できる。大手の下請けで施工を手掛ける中小工務店と消費者を直接結びつけて余分なコストを削減し、施工費の引き下げを狙う。初年度にサイト経由で20億円分の成約を目指す。

住宅リフォームITで効率化

ローカルワークスのサイト　消費者、見積もり一括比較

サイト名は「ローカルワークス」。当初はサイトに登録する全国の工務店など50社に見積もりを依頼できる。実際に成約すると、施工金額に応じて5～10％の成果報酬を業者側から受け取る。

一般的な見積もりサイトは業者が数十万円の登録料に加えて月額利用料を支払う。この負担をなくすことで、中小工務店を開拓する。登録会社を1年で1千社に増やす計画だ。

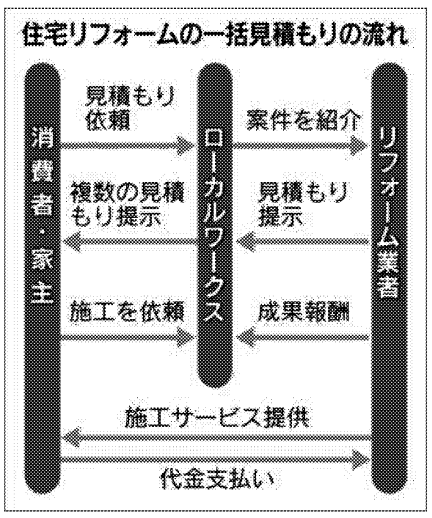
リフォームは住宅大手も力を入れているが、実際の施工は中小の工務店が手掛けることが多い。新サイトは大手の営業費用など余分なコストが不要になる分、「従来に比べ2割程度は施工費を下げられる」（同社）という。

顧客開拓では不動産管理会社などと連携する。リフォームを検討する消費者の紹介を受ける。サイトの利用者には、工事終了後に業者の口コミを投稿してもらう。施工費は適正だったか、業者の信頼性は高かったかなど、今後の利用者の不安を拭し、成約につなげる。自動車や家電の修理などの見積もりも同サイトで対応する。

清水氏はコンサルティング会社やリフォーム関連のベンチャー企業などを経て、今年2月にローカルワークスを設立した。リフォーム分野はIT（情報技術）活用が遅れており、効率化の余地が大きいとみて新サービスを企画した。

リフォームの国内市場は年間7兆円程度だが、国は20年までに2倍に増やす方針を掲げており、長期的な成長が期待できる。

（伊藤大輔）



(C)日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。